



セイバー×汚っさん

ある日



ピン  
ポーン



おや??

誰か来た  
みたいですね



こんにちわ

こんな可愛い子が

お出迎えとはね

失礼

私、士郎くんの親戚ですが



セイバーさん…

あ、今日先輩の親戚が来るので

はい!

私が帰ってくるまで

適当に相手をしてあげてくださいね



あ!

そういえば…



せっかくだし士郎くんが

帰ってくるまで

2人でお話してもしようか…

はあ

はあ

はあ

そうですねっ!

はいはい

ぐっっ…ふうっっ

最後一発出すぞっ！

家に上がらせた途端  
この男に無理矢理薬を飲まされ  
気を失っている間…私は……ッ

あーっ！

はっ

っあ

アッ

んっん

っ…

アッ！

アッアッ

はあっいいい…ッ！

士郎の親戚という男に……  
何度も犯され、魔力不足というのもあり  
私は快楽に負けてしまい……  
最後は彼を受け入れてしまった……

士郎の親族という事もあり私は反抗できず  
結局この日私は朝からその晩まで  
犯され続け………ました……

はあ……

はあ

はあ

これからは毎日抱いてあげるから

魔力不足は気にしなくて大丈夫だよ♡

こんな綺麗な子を紹介してくれた

桜ちゃんにはお礼しないとね



はあ

はあ

セイバーちゃんのお尻気持ちいいよお

せめて意識だけは保とう  
初めは抵抗するが

こうして私は毎晩  
この男に抱かれた...

最後はお互いが愛人かの様に  
抱きつき...はしたないキスを  
自らしてしまう...

あうっ

あ...っ  
くう...っ

こいつは私の弱い所を何度も  
攻めてくるので...  
次第に意識は途切れていき

あはっ...

はっ

んへあ...

もうっ...ダ...メ...!!

やあ...

んはああああんっ

あはっ

はあ

はっ

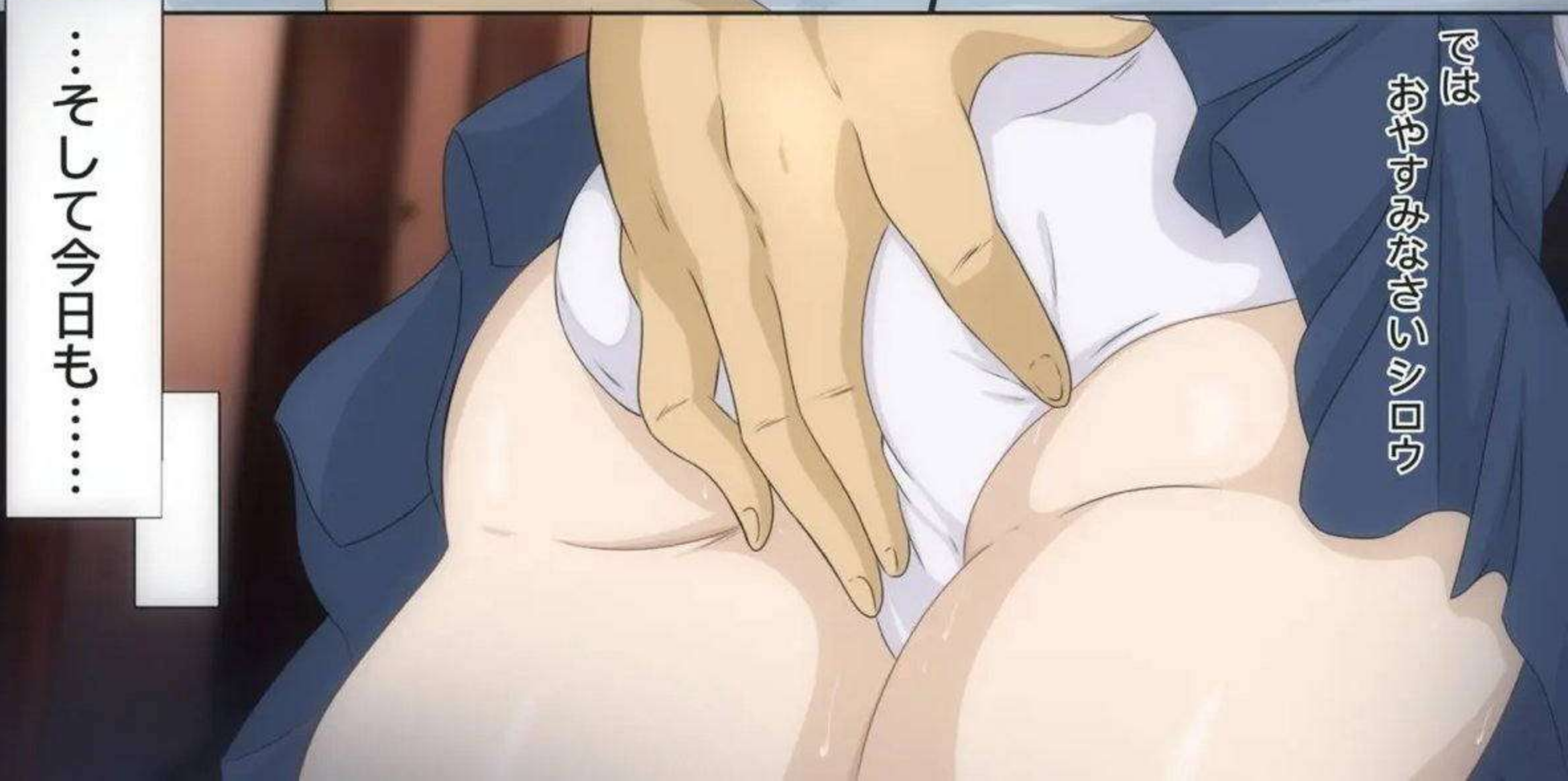
そして時間いっぱいまで私を犯す...

男は私のおそこと……おしりに  
大量の性を溢れるくらい流し込んだ後は  
疲れ果て眠りにつく  
お互い抱き合いながら  
そのまま私も一緒に……



はあ……気持ちよかったあ

朝、シロウ達にバレないように  
起床しシャワーを浴びて  
何も無かったかのように  
いつもの日常へと戻る……



では  
おやすみなさいシロウ

……そして今日も……